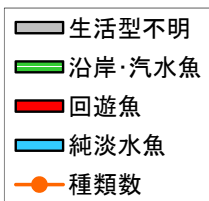
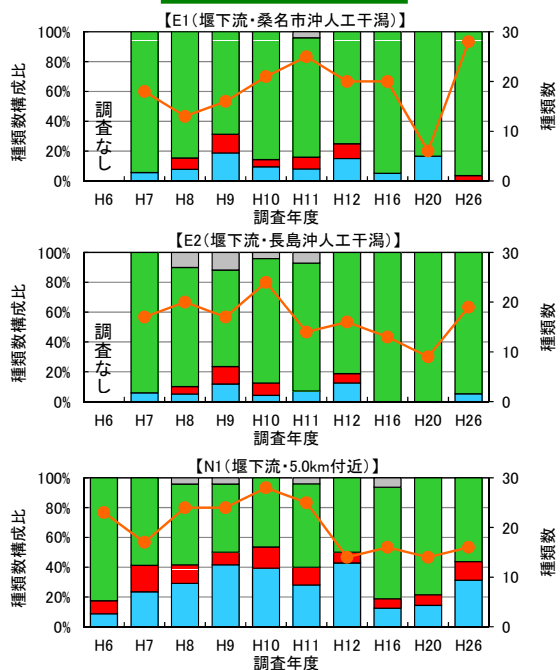


生物の生息・生育状況の変化の評価【魚類】

■ 魚類の種類数の経年変化

- 堰上流域のN2(9.0km付近)、N3(9.5km付近)では種類数の増加傾向が見られるが、他の地点は概ね横這いで推移している。
- 堰上流域のN2～N7(28.0km付近)では、河口堰運用後は純淡水魚種の割合が増加、汽水・海水魚種の割合が低下しており、平成8～9年度頃からは純淡水魚を中心とした魚類相となっている状況に変化は見られない。
- 堰下流域については、汽水・海水魚を中心とした魚類相に変化は見られない。

堰下流



堰上流

(平成7年7月本格運用開始)

